

2022年4月1日

カーボンニュートラル都市ガスの初供給について

静岡県内3社へ、CO₂を2万トン削減

静岡ガス株式会社（代表取締役 社長執行役員 岸田裕之）は4月1日、当社初となるカーボンニュートラル都市ガスの供給契約を、丸井製紙株式会社の本社工場（所在地：静岡県富士市）、株式会社ヤヨイサンフーズの清水工場（所在地：静岡県静岡市）、熱海ガス株式会社（所在地：静岡県熱海市）と締結し、同日に供給^{※1}を開始しました。

カーボンニュートラル都市ガスは、2021年9月に導入したカーボンニュートラル LNG^{※2}を活用します。天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生するCO₂を、森林保全や再生可能エネルギー事業で創出されたカーボンクレジットで相殺することで、実質的にCO₂が発生しないものとみなされます。

今回、当該3社へ供給している都市ガスをカーボンニュートラル都市ガスへ切り替えていくことで、合計で約2万トンのCO₂削減を見込んでいます。

静岡ガスグループは2021年8月に「2050年カーボンニュートラルビジョン」を公表し、2030年までの目標として「CO₂削減貢献量200万トン」^{※3}を掲げています。今後もお客さまとともに脱炭素社会を見据えた取り組みを推進し、地域の持続的な成長に貢献してまいります。

※1 熱海ガスには卸供給となります。

※2 株式会社INPEXから導入。同カーボンクレジットは、信頼性の高い認証機関（アメリカのNPO団体であるVerra）の、自主的炭素市場で広く認知されたカーボンクレジット認証スキームVCS（Verified Carbon Standard）によってCO₂排出削減効果が認証されています。

※3 2021年度から2030年度までの静岡ガスグループの事業活動を通じたCO₂排出削減貢献量。

以上